

基本理念

『一人ひとりの個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり ～子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進～』

こどものために
アクション!

(現行:『一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり ~ 子どもたちの「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進 ~』)

概要

- ・本県では、全国に先駆けて一人一台のタブレット端末を配備し、子どもたちの主体的で協働的な学びに繋げるとともに、探究学習・プレゼンテーション教育など、これからの時代に必要な資質・能力の育成、新たな学科・コースの創設など県立高校の魅力化を推進
- ・一方、この間、新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変容、少子化の加速、価値観の多様化、デジタル技術の急速な進化など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化
- ・「福井県長期ビジョン」の策定、北陸新幹線の県内開業などにより、「ふくい未来」に明るい展望が開けてきた今こそ、本県の将来を担う子どもたちが、「夢と希望」を持ち、個性を發揮しながら人生を切り拓いていくチャンス
- ・「地域社会をもっと良くしたい」という志を持ち、自分らしく生きるために、**基礎的な知識・技能の習得に加え、地域をより深く学び、多様な人々と協働しながら、自らの可能性に挑戦し未来を切り拓いていく「生きる力」を育成することが不可欠**
- ・子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」、探究心を持ち学びを「楽しむ教育」、郷土の歴史、自然、文化、人々等とつながり学ぶ「ふるさと教育」を進め、**「子どもが主役の教育」を推進**
- ・教職員が子どもと共に学び続ける伴走者として誇りをもって働くことができるよう、働きがいと働きやすさを両立する**「働き方改革」を実行**

目指す人物像

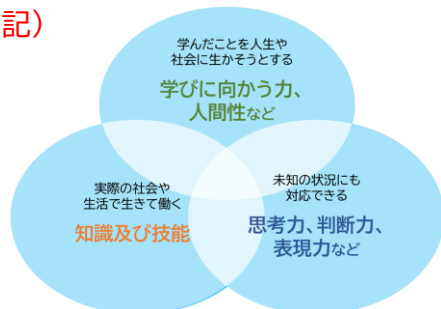
【現行】

【見直し案】

- | | |
|----------------------------------|---|
| ① 自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために挑戦し続ける人 | ⇒個性を發揮し、 自らが思い描く 人生を切り拓くために挑戦し続ける人 |
| ② 多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人 | ⇒(変更なし) |
| ③ ふるさとや自然を愛し、いづどこにいても社会や地域に貢献する人 | ⇒(変更なし) |

変更目的 **将来の夢やより良いキャリア・生き方を自ら考え、主体的に選び取る、自らが主役となって社会を創造する人材を育成**

伸ばすべき力 (新たに明記)



「学びの三要素」

学習指導要領の「**学びの三要素**」をバランス良く育みながら、

- ・思考と行動の基礎となる**学力・体力**
- ・好奇心を持って学びを深める**探究力**
- ・他者と協働するための**共感力・対話力**
- ・ふるさとの未来と自らの将来を思い描く**キャリア形成力**
- ・成長を続けるための**挑戦力** を重点的に育成

教育に関する大綱(案)について

基本的な施策の方向性

1 自らと福井の将来につながる学びの推進

○確かな学力と探究力の育成

- ・少人数指導、最先端のデジタル技術等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・「探究学習」の拡充、サイエンス教育等「得意を見つけ伸ばす教育」の推進

○豊かな心と健やかな体の育成

- ・道徳教育や特別活動、体験学習、地域貢献活動、読書活動の充実
- ・自然体験等を通じてたくましさや社会性を育む「アウトドア教育」の推進
- ・運動習慣の定着、健康教育・食育の推進による健やかな体の育成

○多様な人々と協働する力の育成

- ・相手に共感し、考えをわかりやすく伝える「プレゼンテーション教育」の充実
- ・国際社会で活躍するための語学力向上、「グローバル教育」の展開

○ふるさとの未来と自らの将来を思い描く力の育成

- ・「地域の未来」を構想し、自分の将来を選び取る「ふるさと教育」の充実
- ・「地元就職・地元進学」の意識を高め、ふくいで働き暮らすことの価値を見いだす「ライフデザイン教育」の推進

○幼小中高大のトータル教育の推進

- ・人格形成の基礎を培う幼児教育の更なる充実、小中高の連携・接続強化
- ・高校において、県内大学・企業・団体と連携した探究的な学習を拡充

2 誰一人取り残されず、個性が尊重される学びの推進

○安心して学べる場の充実

- ・子どもが安心して過ごせる居場所をつくる「校内サポートルーム」の拡充
- ・民間事業者が行うフリースクール等と連携した学びの機会の確保
- ・「チーム学校」で取り組むいじめ・不登校対策

○特別支援教育の推進

- ・特別支援学校を外に開き日常的に交流する「インクルーシブ教育」の推進
- ・支援体制の充実、地域・社会と連携した就学先決定と就労支援
- ・教員の障がいに対する理解促進、ICTを活用した学習の推進など、子どもの特性に応じた学びを充実

○医療・福祉分野との連携強化

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、医療・福祉サービスへ迅速に接続する体制づくりを推進

3 人生を楽しく豊かにする学びの推進

○生涯学習の振興

- ・社会教育団体の活性化の相互連携の支援、県民への学習機会・情報の提供により、すべての世代にさまざまな学びの機会を確保
- ・図書館、こども歴史文化館、青年の家など県内社会教育施設の機能充実

○文化芸術・スポーツ活動の充実

- ・地域スポーツクラブ等との連携強化による部活動地域移行の推進など、持続可能な形で子どもの文化・スポーツ活動の充実・強化
- ・次世代の文化芸術・スポーツを担う人材育成の推進

○家庭や地域と一体となった教育力の向上

- ・地域住民による学校運営支援員等の拡充など地域の教育力向上
- ・子育て相談体制・情報発信等、「子どもとともに成長する楽しさ」を拡大

基本となる環境づくり

○「ふくいの教育」の魅力発信

- ・教職の魅力、教員の創意工夫、今の「学びの様子」を発信
- ・教員の自己肯定感とやりがい高め、教職を目指す人材確保を推進

○教職員一人ひとりを大切にする「働き方改革」の推進

- ・教員が子どもと向き合えるよう、更なる学校業務の簡素化・改善
- ・教員やサポート人材の確保、外部の専門機関等との連携強化
- ・個々の教員に負担や責任が集中しない組織づくり
- ・教員の頑張りや学校の内外から評価される環境づくり
- ・教員が保護者・地域から信頼されるよう、服務規律の確保を徹底

○特色のある魅力的な学校づくり

- ・空調設置や省エネ化、バリアフリー化等による安全性の向上
- ・教育DXの基盤となるハード・ソフト両面の環境整備
- ・県立高校の特色化など、多様なキャリア形成を促す学校づくり

今後のスケジュール

- | | |
|------|---------------------------|
| 9月議会 | 大綱案の提出 |
| 10月中 | 大綱の決定（大綱を踏まえ、教育振興基本計画を策定） |